

# 令和6年度女子バスケットボール部の指導方針等について

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「心身を鍛え、集団生活における帰属意識や協調の精神を養う部活動」  
を取り組み目標とする。
- (2) 競技大会等の目標  
東京都高等学校体育連盟の公式戦で東京都ベスト16を目指す。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
コロナが終息したら、地域の中学生との合同練習や練習試合を行う。

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
練習は原則週に5日間とする。火・木曜日は体育館が使用できるので  
2時間半程度の練習。水・金曜日は、1時間半程度の練習。
- (2) 休養日  
平日→月曜日 週休日→土曜日または日曜日
- (3) 活動場所  
体育館等
- (4) 練習や試合等の計画  
1週間に1回程度対外試合を行う
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行・時間を守る態度の育成・礼を重んじる態度・人の嫌がることにも  
も率先して取り組む意識
- (6) 生徒相互の人間関係  
バスケットを通じて、協調性（他人を助け、反対意見を持つ人に耳を傾け  
る。）友情（お互いを尊敬し、献身的な態度をとる）を身につける。
- (7) 学習と部活動  
バスケットを通じて何事にも勤勉に取り組む態度を身に着け、そのことが学  
習にも生かされる。保護者会は年2回実施
- (8) 新型コロナウイルス感染症防止対策  
移動の時はマスクを着用するよう指導し、対外に出る場合及び公式戦時は、健  
康観察表及び保護者の同意書の提出を徹底する。また、こまめな手洗いをし、  
共用物は消毒を徹底して行う。アルコール洗浄液を部で購入。15分に1回程度  
手指の消毒を励行

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
指導者としてアンガーマネジメントの力を身に着ける。生徒自らが目的意識を持っ  
て練習に取り組むように支援する。「明るく・楽しい」練習を目指す。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
感情をコントロールする力、チームメイトに真心をつくして接する態度を身に着け  
る。

- (3) 外部指導員の活用  
なし
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画をたてる。
- (5) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策  
咳エチケット、手指消毒に加え、「3密」を避ける身体的距離を確保する。また、練習前後での手洗いうがいの徹底や水筒持参など感染対策の徹底を図る。

#### 4 大会等の主な記録

令和2年度	Tokyo Thanks Match 3回戦進出 新人大会 4回戦進出 都ベスト 64 シード権獲得
令和3年度	関東大会予選 3回戦進出 インターハイ都予選 3回戦進出 新人大会 3回戦進出
令和4年度	夏季大会 Nブロック準優勝 新人大会 5回戦進出 都ベスト 32 シード権獲得
令和5年度	関東大会予選 4回戦進出 都ベスト 64 シード権獲得 インターハイ都予選 4回戦進出 都ベスト 64 シード権獲得 新人大会 4回戦進出 都ベスト 64 シード権獲得

#### 5 今年度の参加予定大会

大会名	日付
① 関東予選	4月14日～5月5日
② インターハイ予選	5月12日～6月23日
③ 夏季大会	8月20日～23日
④ 新人大会	11月3日～令和6年1月21日

#### 6 部員数

	男子	女子	合計
1年	0	5	5
2年	0	4	4
3年	0	6	6
合計	0	15	15

## 7 主な年間計画

学 期	月	内 容	ま と ま っ た 休 養 日	週 休 日 の 活 動 日 数
1 学期	4	関東予選		6 日
	5	関東予選 インターハイ予選	中間考査期間 5/14~24	8 日
	6	インターハイ予選	期末考査期間 6/24~7/4	8 日
	7	夏期合宿（長野県）		
	8	夏季大会	8/11~16	6 日
2 学期	9	府中大会	なし	6 日
	10	都立研修大会	中間考査期間 10/10~22	8 日
	11	新人大会	期末考査期間 11/26~12/6	8 日
	12	全国高等学校バスケットボール選手権大会 （ウインターカップ） 補助役員	年末 12/28~31	5 日
3 学期	1	新人大会 保護者会②	年始 1/1~3 入選期間	7 日
	2	通常の練習および練習試合	入選期間	7 日
	3	春季休業中 強化練習ゲーム	学年末考査期 間 2/25~3/6	8 日

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

# 令和6年度 茶華道部の指導方針等について

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
自他を敬愛し、思いやりの心と規範意識を育成する。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
高等学校文化連盟茶道部間主催の行事に参加する。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地域の人材を指導者として迎えると共に地元主催の呈茶などの手伝いをする。

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
平日（週二回程度） 15:30～17:00 または 17:30
- (2) 休養日  
上記以外
- (3) 活動場所  
B棟 3F 和室（茶道）・書道室（華道）
- (4) 練習や試合等の計画  
東京都高等学校文化連盟茶道部門主催の茶会への参加  
（年間で大きい茶会が数回、その他ワークショップ等）
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
身だしなみを整え、挨拶のできる姿勢を育成する。
- (6) 生徒相互の人間関係  
帰属意識を持たせ、協調性を養う。
- (7) 学習と部活動  
主体的に学習する態度を培い、部活動との両立を目指す。
- (8) 新型コロナウイルス感染症防止対策  
外部指導員と確認しながら感染防止対策を随時検討する。道具の使いまわしを避け、衛生環境を整える。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
顧問、外部指導員、生徒で体罰、暴言のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
本来のお茶の心得を会得し、日頃から指導する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員の役割を明確にすると共に、共通理解を図り指導をする。
- (4) 事故防止・安全配慮  
火を扱うことや、食品として口に含むものを扱っていることを普段から十分に意識できるように指導する。

(5) 新型コロナウイルス感染防止対策

外部指導員と確認しながら感染防止対策を随時検討する。道具の使いまわしを避け、衛生環境を整える。

4 大会等の主な記録

令和元年度	高文連茶道部門生徒リーダー研修会参加 東京国立博物館主催「銘々皿の絵付け」に参加 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 1000日前イベント参加 高文連茶道部門中央大会 「冬の茶会」参加(東京国立博物館)
令和2年度	高文連茶道部門中央大会 「冬の茶会」 新型コロナウイルス感染症拡大のため、オンラインにて参加
令和3年度	第46回全国高等学校総合文化祭東京大会関プレ大会 参加
令和4年度	第46回全国高等学校総合文化祭東京大会事前研修会 参加 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 参加
令和5年度	文化祭にて呈茶 文化祭および学校説明会等 花の展示

5 今年度の参加予定大会

大会名	日付
東京都高等学校文化祭茶道部門中央大会	12月下旬

6 部員数

	男子	女子	合計
1年	0名	12名	12名
2年	0名	2名	2名
3年	0名	2名	2名
合計	0名	16名	16名

## 7 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	一斉部会	中間審査期間	
	5	高文連総会		
	6			
	7	茶道部門生徒リーダー研修会 東京国立博物館ワークショップ 東京都高等学校文化祭茶道部門中央大会「冬の茶会」事前研修会	期末審査期間	
	8	全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演お手伝い参加 文化祭向け練習		
2 学期	9	文化祭（呈茶）花の展示	中間審査期間	
	10	東京都高等学校文化祭茶道部門中央大会 「冬の茶会」事前研修会 東京大茶会		
	11	学校説明会等 花の展示（3回予定）	期末審査期間	
	12	東京都高等学校文化祭茶道部門中央大会 「冬の茶会」		
3 学期	1		学年末審査期間	
	2			
	3	卒業記念茶会		

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

# 令和6年度 美術部の指導方針等について

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
美術に触れることを通じて「心と体の基礎力を培う」べく、日々積極的に活動に取り組む。
- (2) 競技大会等の目標  
中央展、黒板アート甲子園での入賞を目指す。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地域の美術館へ積極的に足を運び、そこでの学びを日々の制作に還元する。

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
活動は、原則週に3日間とし、活動時間は、平日は原則2時間程度とする。週休日及び長期休業中の1回の活動は、原則3時間程度とし、午前午後共に活動する際は、間に十分な休憩時間をとる。合理的で効率的、効果的な活動を行う。
- (2) 休養日  
週4日（土日含む）
- (3) 活動場所  
美術室
- (4) 練習や試合等の計画  
12月の中央展、9月の黒板アート甲子園に向けて制作をする。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、言葉遣いに注意し、活動後の清掃に努める。
- (6) 生徒相互の人間関係  
展示等での共同作業を通じて、協調性をはぐくみ部の活動が円滑に行えるようにする。
- (7) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を意識して学校生活を送るようにする。
- (8) 感染症防止対策  
制作活動において、十分な間隔を開けて行い、定期的に換気をする。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
顧問・生徒・保護者の間で適切な指導について共通理解を図り、体罰・暴言はもちろん、乱暴な言葉遣いはしないよう指導する。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
日頃からどんなことでも会話によって問題解決を図るよう指導していく。
- (3) 外部指導員の活用  
今年度はなし
- (4) 事故防止・安全配慮  
電動工具、刃物を使用する際は顧問が立ち会う。環境整備を徹底する。

(5) 新型コロナウイルス感染症防止対策

密にならないよう間隔を充分に開けて制作させる。活動後の用具類の除菌。  
常時喚起、不織布マスク着用、活動前後の手指消毒。

4 大会等の主な記録

令和3年度 高等学校文化連盟美術工芸部門中央展参加 (東京都美術館に作品展示)

令和4年度 高等学校文化連盟美術工芸部門中央展参加 (東京都美術館に作品展示)

令和5年度 高等学校文化連盟美術工芸部門中央展参加 (東京都美術館に作品展示)

5 今年度の参加予定大会

	大会名	日付
①	高等学校文化連盟美術工芸部門中央展	12月
②	黒板アート甲子園	9月

6 部員数

	男子	女子	合計
1年	0	2	2
2年	3	5	8
3年	0	6	6
合計	3	13	16

## 7 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった休 養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	鉛筆デッサンの基本技術の習得 個人制作	考查期間 5/14-5/23	0
	5	油絵の基本技術の習得 個人制作	考查期間 6/24-7/4	
	6	校内展示作品の制作	夏季休業日 8/10-8/18	
	7	↓		
	8	美術館見学		
2 学期	9	校内展示 黒板アート甲子園出品作品の制作	考查期間 10/10-10/22	3
	10	中央展出品作品の制作  ↓	考查期間 11/26-12/6	
	11	高等学校文化連盟美術工芸部門	冬季休業日 12/25-1/7	
	12	中央展参加		
3 学期	1	個人制作  ↓	入試、考查期間 2/20-3/9	0
	2	壁画制作	春季休業日	
	3			

## 令和6年度 サッカー部の指導方針等について

### 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「人間愛、自由、責任」を学校教育目標として、自らの役割を考え、一つの練習に目的意識を持ちながら努力できる生徒を目指す。
- (2) 競技大会等の目標  
都大会予選決勝進出を目指し日々取り組んでいる。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
近隣の中学生向けに部活動体験を行う。また、府中市内の高校のサッカー部と交流を行い、市内のスポーツ活性化に努める。

### 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は週5日程度、平日は2時間、休日は3時間とする。質の高い練習を短時間集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画  
毎月、近隣高校との練習試合を行い、試合の中で課題を発見し、解決するために練習を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識育成  
挨拶、正しい言葉遣い、授業外と準備時間の切り替えができる生徒を目指す。
- (4) 生徒相互の人間関係  
部活動を通じて協調性や思いやり、責任感の育成を図る。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立をさせるため、家庭での学習時間を確保するよう指導する。
- (6) コロナ対策  
移動の時はマスクを着用する。対外に出る場合、健康観察表及び保護者の同意書の提出を徹底する。また、共用物は、消毒を徹底して行う。

### 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
顧問・副顧問・外部指導員と指導についての共通理解を持ち、体罰・暴言のない指導を行う。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
暴力で物事を解決する事がなく、話し合いで解決が図れるよう日々の指導を徹底する。
- (3) コロナ対策  
移動の時はマスクを着用するよう指導し、対外に出る場合及び公式戦時は、健康観察表及び保護者の同意書の提出を徹底する。また、共用物は、消毒を徹底して行う。

### 4 大会等の主な記録

令和5年度	選手権予選	2回進出
	新人戦予選	1回戦出場
	総体予選	ブロック決勝進出

## 5 今年度の参加予定大会

- ① インターハイ予選参加
- ② 選手権1次予選
- ③ 区新人選手権予選

## 6 部員数

	男子	女子	合計
1年	13	2	15
2年	10	2	12
3年	13	2	15
合計	39	6	42

## 7 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	一斉部会
	5	総体予選
	6	
	7	府中市交流戦 練習試合 OB 戦
2 学期	8	
	9	選手権支部予選
	10	練習試合
	11	地区新人戦
3 学期	12	練習試合
	1	練習試合
	2	練習試合
3 学期	3	練習試合 3年生を送る会

# 令和6年度 ダンス部の指導方針等について

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
心身を鍛え、集団生活における帰属意識や協働・協調の精神を養うことを目標とする。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
日本高校ダンス部選手権、MUSIC DAYS 東京大会 などの各大会において関東大会以上の成績を上げることが目標とする。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地域イベント(西府文化センター祭り、四谷小学校グリーンフェスティバル、府中市 みんなのスポーツ Day、よさこい in 府中)への積極的な参加。

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間(平日、週休日等)  
月曜日、火曜日、水曜日、金曜日、土曜日。
- (2) 休養日
  - ・木曜日、日曜日、祝日。
  - ・各学期の定期考査1週間前より考査終了前日まで。
  - ・長期休業(春、冬)
  - ・夏季長期休業に関しては、お盆休みを設ける。
- (3) 活動場所  
中央廊下、トレーニングルーム、(外部施設については主に府中市)
- (4) 練習や試合等の計画  
各学年、年間2～3大会出場する。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
学校の決まりを守り、規範意識を徹底する。
- (6) 生徒相互の人間関係  
各学年、または学校単位として出場することから、相互理解と協調性の体得を目指す。
- (7) 学習と部活動  
日々の学習を怠らないようし、部活との両立を図る。保護者との連携を図り指導する。
- (8) コロナ対策のため、活動前に手洗いうがいをはげしく、一人一人が離れて活動する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
上級生から下級生へ、また同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることは絶対にないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。  
熱中症対策も万全にする。(扇風機の活用、冷房施設の利用)
- (5) 新型コロナウイルス感染防止のため、定期的な検温、体調の確認を行う。

## 4 大会等の主な記録

平成26年度	MUSIC DAYS 東京大会	優秀賞受賞
	MUSIC DAYS FINAL 大会	LOCKY & KEIKO 賞受賞
平成27年度	MUSIC DAYS 東京大会	最優秀賞受賞
	MUSIC DAYS FINAL 大会	JEPC(日本イベントプロデュース協会)賞受賞
平成28年度	MUSIC DAYS 東京大会	優秀賞受賞 オーディエンス賞受賞
平成29年度	MUSIC DAYS 東京大会	オーディエンス賞受賞
	東京工学院テクノダンスパーク	ベストインパクト賞受賞
平成30年度	MUSIC DAYS 東京大会	優秀賞受賞(11月のFINAL大会出場決定)
	東京工学院テクノダンスパーク	ベストビジュアル賞受賞
令和1年度	MUSIC DAYS 東京大会	オーディエンス賞受賞
	高校生ダンス選手権参加	
令和2年度	MUSIC DAYS 東京オンライン大会	
令和3年度	全国高等学校ダンス部選手権	オンライン参加
	Music Days 東京大会オンライン予選通過	東京大会本戦出場
	日本高校ダンス部選手権	関東大会ビッグクラス参加
	日本高校ダンス部選手権	新人戦スモールクラス参加
令和4年度	全国高等学校ダンス部選手権	ビッグクラス参加
	Music Days 東京大会オンライン予選通過	東京大会本戦出場
	全日本チームダンス選手権大会	関東大会ビッグクラス参加
	日本高校ダンス部選手権	新人戦スモールクラス参加
令和5年度	全国高等学校ダンス部選手権	ビッグクラス参加
	Music Days 東京大会オンライン予選通過	東京大会本戦出場
	全日本チームダンス選手権大会	関東大会ビッグクラス参加
	日本高校ダンス部選手権	新人戦ビッグクラス参加

## 5 今年度の参加予定大会

大会名	日付
① MUSIC DAYS 東京大会	7月15日(月/祝)
② 全日本高等学校チームダンス選手権大会	7月29(月)30(火)
③ 全国高等学校ダンス部選手権 (Dance Stadium) 関東甲信越大会 スモール・ビッグクラス参加	8月7(水)、8(木)、9(金)
④ 日本高校ダンス部選手権(Dance Stadium) 新人戦大会	--4月初

## 6 部員数

	男子	女子	合計
1年	0	12	12
2年	0	16	16
3年	1	8	9
合計	1	36	37

## 7 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	活動開始新入生 仮入部 新入生歓迎会	中間考査 1週間前～ 考査終了前日	4月 計4日
	5	作品づくり ミックスグループ分け	5/14～5/24	5月 計6日
	6		期末考査	6月 計5日
	7	西府文化センター祭り MusicDays 東京大会 全日本チームダンス選手権大会	1週間前～ 考査終了前日 6/22～7/4	7月 計4日
	8	ダンススタジアム関東甲信越大会	お盆休み 8/13～8/18	8月 計5日
2 学期	9	文化祭発表 ・引退ミーティング	中間考査	9月 計5日
	10	・府中市立四谷小学校「グリーンフェスティバル」 への参加 ・(府中市)「みんなのスポーツ Day」への参加	1週間前～ 考査終了日前日 10/10～10/22	10月 計5日
	11	・「MUSIC DAYS 2016 FINAL 大会」出場	期末考査	11月
	12	・クリスマス公演の準備 ・クリスマス公演	1週間前～ 考査終了日前日 11/26～12/6	計6日 12月 計4日
3 学期	1		冬休み	1月
	2		12/26～1/7	計4日
	3	ダンススタジアム新人戦	学年末考査 1週間前～ 考査終了前日 2/24～3/6	2月 計4日 3月 計4日

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

# 令和6年度 デジタルクリエイト部の指導方針等について

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
  - ・主体的に活動をし、力量を高める。
  - ・相互に刺激し合い、共同制作を行い、協調性を養う。
- (2) 特色ある目標
  - ・個人の要望に応じたデジタルコンテンツの作成を行い、技術の向上をはかる。

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間  
平日(週4回程度) 15:30~17:00 または 17:30
- (2) 休養日  
上記以外
- (3) 活動場所  
パソコン室
- (4) 練習や試合等の計画  
文化祭で作品を発表する。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
身だしなみを整え、挨拶のできる姿勢を育成する。  
地域と連携した行事を開催する。
- (6) 生徒相互の人間関係  
帰属意識を持たせ、協調性を養う。
- (7) 学習と部活動  
主体的に学習する態度を培い、部活動との両立を目指す。
- (8) 新型コロナウイルス感染症防止対策  
実習後はマスクの着用、手洗い・消毒を徹底する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
生徒の自主性を尊重しながら、ひとつひとつの活動に時間をかけて計画・実行・反省を生徒自身が中心となっていく。指導教員はアドバイスをする立場で接する。
- (2) 外部指導員の活動  
顧問と外部指導員の連携をとり、共通理解をはかりながら実施する。
- (3) 事故防止・安全配慮  
生徒の知識・技術にふさわしい活動内容となっているか事前に打ち合わせをしながら計画をたてる。安全・衛生面に配慮した活動を行っているかを当日顧問が確認する。

## 4 部員数

	男子	女子	合計
1年	13	3	16
2年	17	3	20
3年	17	2	19
計	47	8	55

## 5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	仮入部 1 学期体験実習
	5	コンテンツごとのグループ分け 班長を中心に企画の検討
	6	文化祭企画の決定
	7	文化祭準備
	8	
2 学期	9	文化祭 2 学期制作予定検討
	10	
	11	
	12	
3 学期	1	3 学期制作予定検討
	2	各コンテンツの発表会
	3	卒業式 新歓オリエンテーション準備 新体制引き継ぎ

# 令和6年度 バドミントン部の指導方針等について

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「輝く部活動」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する主体性をもって日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
ブロックでの優勝、都大会出場を目指して努力する。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地域への施設開放等の活動を行う。

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
練習は原則週に5日間とし、練習時間は平日2時間、休日3時間半を基本とする。練習は意識を高く持ち、短時間に集中して行う。
- (2) 休養日  
基本的に平日に1日、週休日に1日とする。
- (3) 活動場所  
本校体育館及び校舎外周り
- (4) 練習や試合等の計画  
2か月に1回程度他校との練習試合を組む。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、模範となる言行を実践する。
- (6) 生徒相互の人間関係  
上級生からの命令・強制のないようにする。初心者も経験者も他者を思いやる気持ちをもたせる。
- (7) 学習と部活動  
学習との両立を図るために、学習時間の確保を心がける。
- (8) 新型コロナウイルス感染症防止対策  
密集、密接、密閉を避け、手洗いの励行をする。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
体罰関連行為ガイドラインを活用し、体罰・暴言のない指導を実践する。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
部活動の生徒に対して、上級生から下級生、同級生同士で暴力行為のないように指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員との間で連携を密に取り、共通理解をもって指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術を適切に把握して指導を行う。
- (5) 新型コロナウイルス感染症防止対策  
体育館内の換気に努める。手洗い、手指消毒の指導を行う。

## 4 大会等の主な記録

令和5年度

東京都高等学校体育連盟主催 各大会に出場（年間8回）

## 5 今年度の参加予定大会（団体のみ）

	大会名	日付
①	関東予選	4月14日～4月29日
②	インターハイ予選	5月26日～6月16日
③	新人大会	10月27日～11月23日
④	冬季ブロック大会	1月12日～1月19日
⑤	国公立大会	2月

## 6 部員数

	男子	女子	合計
1年	17	11	28
2年	2	13	15
3年	9	0	9
合計	28	24	52

## 7 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまっ た休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	生徒会部活動紹介 東京都高等学校体育連盟春季バドミントン大会	中間考査期間 5/21～5/24	4 日
	5	東京都高等学校総合体育大会（個人）		4 日
	6	東京都高等学校総合体育大会（団体）		4 日
	7		期末考査期間 7/1～7/4	3 日
	8	夏季休業中 練習 東京都高等学校バドミントン新人戦Ⅰ部大会（個人）		4 日
2 学期	9		中間考査期間 10/17～10/22	4 日
	10	東京都高等学校バドミントン新人戦Ⅰ部大会（個人）		4 日
	11	東京都高等学校バドミントン新人大会（団体）	期末考査期間 12/3～12/6	4 日
	12	冬季休業中 練習	年末 12/28～12/31	3 日
3 学期	1	東京都高等学校バドミントン冬季ブロック大会（団体）	年始 1/1～1/3	4 日
	2	国公立大会（団体）	入選期間 1/24～1/27 入選期間 2/20～2/26	4 日
	3	東京都高等学校バドミントン新人戦Ⅱ部大会（個人） 春季休業中 練習	期末考査期間 3/3～3/6	3 日

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

# 令和6年度 ホームメイキング部の指導方針等について

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
  - ・主体的に活動をし、達成感を得る。
  - ・仲間と協力して制作し、絆を深める。
- (2) 特色ある目標
  - ・洋服や小物などの作成を通じ、技術の向上をはかる。
  - ・調理活動を通じ、技術の向上をはかる。
  - ・外部のコンテストに参加する。

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間  
平日(週二回程度 本年度は月曜日と水曜日) 15:30～17:00 または 17:30
- (2) 休養日  
上記以外
- (3) 活動場所  
被服室・食物室
- (4) 練習や試合等の計画  
文化祭で作品を発表する。  
外部のコンテストに応募する。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
身だしなみを整え、挨拶のできる姿勢を育成する。  
衛生面に配慮し、エプロン・三角巾着用、清掃・手洗い等を徹底する。
- (6) 生徒相互の人間関係  
帰属意識を持たせ、協調性を養う。
- (7) 学習と部活動  
主体的に学習する態度を培い、部活動との両立を目指す。
- (8) 新型コロナウイルス感染症防止対策  
調理実習はマスクの着用、手洗い・消毒を徹底する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
生徒の自主性を尊重しながら、ひとつひとつの活動に時間をかけて計画・実行・反省を生徒自身が中心となっていく。指導教員はアドバイスをする立場で接する。
- (2) 外部指導員の活動  
顧問と外部指導員の連携をとり、共通理解をはかりながら実施する。進路指導も兼ねているため、一部の学校に偏ることなく依頼する。
- (3) 事故防止・安全配慮  
生徒の知識・技術にふさわしい活動内容となっているか事前に打ち合わせをしながら計画をたてる。安全・衛生面に配慮した活動を行っているかを当日顧問が確認する。

#### 4 部員数

	男子	女子	合計
1年	0	7	7
2年	1	12	13
3年	0	3	3
計	1	22	23

#### 5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1学期	4	仮入部 1学期制作予定検討 名札の作成
	5	文化祭企画の検討
	6	文化祭企画の決定
	7	文化祭準備
	8	コンテスト作品の制作
2学期	9	文化祭 2学期制作予定検討
	10	新体制引き継ぎ 検討内容に沿って活動を行う
	11	検討内容に沿って活動を行う
	12	検討内容に沿って活動を行う
3学期	1	3学期制作予定検討
	2	三送会準備
	3	卒業式 新歓オリエンテーション準備

# 令和6年ラグビー部の指導方針等について

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
心身を鍛え、集団生活における帰属意識や協働・協調の精神を養う
- (2) 競技大会等の目標  
東京都ベスト8
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
ラグビーを通じた近隣中学校やラグビースクールとの連携

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
週1～2日の休日を生徒の状況を見ながら設定  
ビデオなどを見て視覚に訴えることによる練習の効率化
- (2) 練習や試合等の計画  
生徒の状況を鑑みながら月3～4回は練習試合を行う
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識育成  
時間の厳守  
準備・片づけを全員でやることの徹底  
お互いの心を開く挨拶の徹底
- (4) 生徒相互の人間関係  
協調性、責任感の大切さを認識させる
- (5) 学習と部活動  
部活動後のだらだらした時間を無くし、メリハリのある生活習慣を身に着けさせる
- (6) 生徒相互の人間関係  
チームプレーを通じて、協調性や責任感を涵養する。
- (7) 感染症防止対策  
自己の健康管理を徹底させる。また、こまめな手洗いをを行う。

## 3 指導内容・方法

種目の特性を鑑み、体幹トレーニング、ウェイトトレーニングや食事等への意識を高め、体づくりを優先させ、常に安全に留意しながら行う。またトレーニングに関しては外部指導員の協力のもとさらに質の高い内容を目指す。練習メニューに関しては生徒と密に連携を図りながら行う。練習中にビデオを活用し、即フィードバックできるよう工夫する。

#### 4 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	新入生の勧誘 春季大会東京都予選
	5	7人制大会東京都予選 部活動保護者会
	6	
	7	
	8	中学生向け体験練習会の開催
2 学期	9	全国大会東京都予選
	10	全国大会東京都予選 中学生向け練習体験会の開催
	11	多摩大会
	12	新人大会東京都予選
3 学期	1	新人大会東京都予選
	2	
	3	三年生を送る会・OB 総会 (OB 戦)

# 令和6年度 剣道部の指導方針等について

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
高い目的意識と自ら実践する強い行動力で目標達成にむけ努力を継続する。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
試合・審査等において自分自身を最大限発揮できるように日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
府中市民剣道大会等の準備役員として活動する。

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
原則5日間とし、活動時間は平日2時間程度、週休日及び長期休業中は、3時間程度とする。
- (2) 休養日  
木曜日・日曜日
- (3) 活動場所  
武道棟（剣道場）
- (4) 練習や試合等の計画  
月1回程度、連休・長期休業等に集中して練習試合を行う。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉使い、自ら進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (6) 生徒相互の人間関係  
対人競技ではあるが、試合等では団体戦が多いことから、協調性や責任感を養う。
- (7) 学習と部活動  
部活動と学習の両立を図るため、原則、日曜日は休養日として、家庭学習の時間を確保できるようにする。
- (8) 感染症防止対策  
新型コロナウイルスは落ち着きを見せているが、マスク着用・手指の消毒は必要に応じて取り組む。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について興津理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

(5) 新型コロナウイルス感染防止対策

稽古時ではフェイスガードを必ず着用する。大会時、会場内ではマスクの着用を実践する。

4 大会等の主な記録

令和3年度	東京都春季剣道大会男子団体出場 全国大会都予選男子個人1名出場 東京都秋季剣道大会男子団体Ⅱ部 ベスト32
令和4年度	東京都春季剣道大会男子団体出場 全国大会都予選男子個人1名出場 ベスト32 府中市民剣道大会男子個人2段以下の部 準優勝
令和5年度	東京都春季剣道大会男子団体出場 全国大会都予選男子団体出場

5 今年度の参加予定大会

4月	20日(日) 東京都春季剣道大会兼関東大会予選男子団体
5月	11日(土) 関東大会予選男子個人 19日(日) 全国高等学校剣道大会第4支部予選男子団体個人
6月	1日(土) 全国高等学校剣道大会都予選男女個人 22日(土) 全国高等学校剣道大会都予選男女団体 30日(日) 東京都高体連剣道専門部段級位審査会
8月	21日(水) 東京都秋季剣道大会男女団体
11月	17日(日) 東京都高体連剣道専門部第4支部剣道大会
12月	15日(日) 東京都高体連剣道専門部新人剣道大会第4支部予選
1月	15日(日) 東京都新人剣道大会

6 部員数

	男子	女子	合計
1年	4	0	4
2年	2	1	3
3年	1	0	1
合計	7	1	8

## 7 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	高体連剣道専門部総会 生徒会部活動紹介	春季休業	3 日
	5	関東剣道大会男子団体戦都予選 全国剣道大会個人・団体支部予選 全国剣道大会個人都予選	中間考査期間 5/14~5/23	9 日
	6	全国剣道大会団体都予選 剣道段位審査会 夏季剣道錬成大会	期末考査期間 6/23~7/3	3 日
	7	夏季錬成会 合同稽古・練習試合等	大会後 8/22~8/28	4 日
	8	合同稽古・練習試合等 秋季剣道大会	夏季休業	4 日
2 学期	9	文化祭役割分担	陽光祭準備	4 日
	10	府中市民剣道大会	中間考査期間 10/14~10/21	4 日
	11	一級審査会 第4支部剣道大会	期末考査期間 11/26~12/5	4 日
	12	国公立剣道大会 新人剣道大会支部予選 冬季錬成大会	年末	4 日
3 学期	1	新人剣道大会都予選	年始 1/1~4 入選 1/24~26	4 日
	2	剣道部寒稽古 段位審査会	入選 2/20~26 学年末考査期間 2/25~3/5	4 日
	3	増田杯剣道大会 春季錬成会 全国拓高旗剣道大会 全国柴田旗剣道大会	春季休業	4 日

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

# 令和 6 年度 体操部の指導方針等について

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「心と体の基礎力を培う」ことが出来るよう、高い目的意識と自ら実践する強い行動力を持つと同時に 思いやりと互いに助け合う心を持つ生徒
- (2) 競技大会等の目標  
高体連主催の大会において、男女とも団体上位入賞を目指し、日々練習に取り組む。  
文化祭での演技発表を成功させるべく、技術の向上を目指す。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地域交流を図るため、他校生との合同練習会や小中学生の体験会を実施する。
- (4) 換気や手洗い、手指消毒など感染防止対策をしっかりと行い、安心・安全な活動を行う。

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は、原則週 5 日間とする。  
練習時間は、平日 2 時間、休日 4 時間を基本とし、各自が長期目標・短期目標を設定し、意欲的に練習に取り組めるよう工夫する。
- (2) 練習や試合等の計画  
他校との合同練習なども企画して、より広い視野をもって、練習に取り組むことができるようにする。互いに補助し合い、安全に練習できるように努める。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識育成  
挨拶の励行・正しい言葉遣い・規則を守り他者を支えることが出来る人間になることを目指させる。
- (4) 生徒相互の人間関係  
個人スポーツではあるが、一人では何一つ練習できないことを十分理解して協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携を取って指導する。また長期休業中は、練習の前後に学校で学習する時間を設定する。

### 3 指導内容・方法

#### (1) 体罰・暴言等のない指導

科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

#### (2) 生徒間の暴力禁止

運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により、問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

#### (3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

#### (4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

### 4 大会等の主な記録

		大会名	結果
令和元年度	都高体連	男子3年生大会	団体総合第2位
	都高体連	女子2年生大会	団体総合第1位
	都高体連	女子1年生大会	団体総合第4位
	都高体連	男子新人大会	団体総合第3位
	都高体連	女子秋季大会	団体総合第3位
	都高体連	女子関東大会予選	団体総合第6位
令和2年度	都高体連	男子3年生大会	団体総合第2位
	都高体連	女子秋季大会	団体総合第3位
令和3年度	都高体連	男子3年生大会	団体総合第1位
	都高体連	女子3年生大会	団体総合第2位
	都高体連	女子2年生大会	団体総合第2位
	都高体連	男子新人大会	団体総合第5位
	都高体連	女子秋季大会	団体総合第3位
令和4年度	都高体連	男子3年生大会	団体総合第4位
	都高体連	男子新人大会	団体総合第3位
	都高体連	女子秋季大会	団体総合第4位
令和5年度	都高体連	男子3年生大会	団体総合第2位
	都高体連	女子1年生大会	団体総合第4位
	都高体連	男子新人大会	団体総合第5位
	都高体連	女子秋季大会	団体総合第4位

## 5 今年度の参加予定大会

### 大会名

- |       |         |          |
|-------|---------|----------|
| ① 高体連 | 男子3年生大会 | 5月 5日    |
| ② 都体協 | 種目別大会   | 8月11、12日 |
| ③ 高体連 | 女子2年生大会 | 8月24日    |
| ④ 高体連 | 女子1年生大会 | 10月13日   |
| ⑤ 高体連 | 男子新人大会  | 11月 3日   |
| ⑥ 高体連 | 女子秋季大会  | 11月23日   |

## 6 部員数

	男子	女子	合計
1年	2	0	2
2年	10	3	13
3年	3	2	5
計	15	8	20

## 7 主な年間計画

学期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数
1学期	4	生徒会部活動紹介 学年別大会へ向けて練習		4月 8日
	5	学年別3年生大会男子（国士館大学）	中間考査期間 5月14～ 5月24日	5月 7日
	6	体操部保護者会（練習参観・指導方針・ 合宿等について説明）	期末考査期間 6月24～ 7月4日	6月 6日
	7	夏季合宿健康診断		7月 4日
	8	夏季合宿（宿泊：府中市生涯学習センター 練習：府中西高校）8月1～4日 合同練習会（本校会場） 種目別大会（錦城高校・本校） 学年別2年生大会（錦城高校）	閉庁日 8月13～ 8月16日	8月 5日

2 学期	9	文化祭：演技発表	9月7・8日	9月 5日
	10	女子学年別1年生大会（錦城高校）	中間考査期間 10月10～ 10月22日	10月 4日
	11	男子新人大会（国士館大学） 女子秋季大会（錦城高校）	期末考査期間 11月26～ 12月6日	11月 7日
	12	基礎体力強化練習 冬季休業中 練習	年末 12月28～ 31日	12月 4日
3 学期	1	基本的な技から発展的な技へレベルアップ を図る練習  次年度大会に向けて、演技構成を完成 させる。	年始 1月1～4日 入選期間 1月24～27日	1月 4日
	2	各種目における技の質を高める	入選期間 2月20～26日	2月 3日
	3	新入生歓迎オリエンテーションでの 演技発表に向けての練習	学年末考査期間 2月24～ 3月7日	3月 4日

# 令和6年度 男女ハンドボール部の指導方針等について

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
心身を鍛え、集団生活における帰属意識や、協働・協調の精神を養う
- (2) 競技大会等の目標  
関東大会出場
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
府中市ハンドボール協会主催の大会ボランティア、近隣中学生への技術指導

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間  
練習は、原則火～日曜日の週5日間とし、練習時間は平日2時間、休日3時間を基本とする。
- (2) 休養日  
学期中は月曜日と土曜日に休養日を設ける。さらに定期考査1週間前や定期考査期間中は、公式戦の日程等と重ならない限り休養期間とする。  
長期休業中は、週当たり2日以上以上の休養日を設ける。
- (3) 活動場所  
本校ハンドボールコートの基本とするが、遠征等も有り得る。
- (4) 練習や試合等の計画  
必要な時期、生徒の状態をみて練習試合を行う。(大会期は4, 5, 6, 10月)
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識育成  
社会人として通用するあいさつや態度の育成と、時間の感覚を身に着ける。
- (6) 生徒相互の人間関係  
自他を尊重し、チームとして活動していく中で協調性や責任感を養う。
- (7) 学習と部活動  
文武両道の基本理念にのっとり、練習の効率を上げ、学習時間を確保する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
根拠のあるトレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
社会人として通用する人間関係を養うことを徹底する。いかなる場合も暴力やSNSでの攻撃をしてはいけないことを、日々の活動で指導する。
- (3) 外部指導員の活用  
怪我防止の身体能力を身に付ける。

#### 4 大会等の主な記録

<男子>

インハイ予選ベスト16

<女子>

関東予選ベスト4

関東大会出場

#### 5 今年度の参加予定大会

大会名	日付
① 関東予選	4月中旬～5月上旬
② インターハイ予選	5月中旬～6月中旬
③ 国公立大会	8月下旬
④ 新人戦	10月上旬～11月中旬
⑤ チャレンジャーカップ、府中市民大会	

#### 6 部員数

	男子	女子	合計
1年	17	7	24
2年	12	8	20
3年	2	8	10
合計	31	23	54

## 7 主な年間計画

学期	月	内 容	まとまった休養日	週休日の活動日数
1 学 期	4	新入生勧誘、高体連ハンドボール総会参加、春季大会、高校総体都予選へむけた練習、練習試合、神奈川遠征		4月/3日
	5	春季大会、高校総体都予選、部活動見学会（保護者向け）	5月中旬考査 一週間前と考査中	5月/4日
	6	高校総体都予選、基本技術習得のための練習		6月/4日
	7	合宿に向けた体作り、基礎的技能の応用、中学生との練習	7月期末考査 一週間前と考査中	7月/3日
	8	夏季合宿、府中市ハンドボール協会主催の大会ボランティア 国公立大会、国体予選、ハンドボール技術講習会、夏休み勉強会	8月合宿後 4日間	8月/3日
2 学 期	9	秋季大会へ向けた練習、練習試合、中学生との練習	9月陽光祭準備 陽光祭前3日	9月/4日
	10	秋季大会、神奈川遠征、中学生に向けた練習体験会	10月中旬考査 一週間前と考査中	10月/4日
	11	チャレンジャーズカップ、教育研修大会に向けての練習	11月期末考査 一週間前と考査中	11月/4日
	12	チャレンジャーズカップ、教育研修大会、大掃除	年末2日	12月/3日
3 学 期	1	初詣、書初め、基礎体力作り、基礎技能の確認	年始4日 1月入選3日	1月/3日
	2	中学生に向けた練習体験会、基礎技能の応用技術の確認	2月入選3日	2月/4日
	3	春季大会に向けた練習、神奈川遠征 被災地の子供たちを招待したチャリティー トーナメントボランティア	3月学年末考査 一週間前と考査中	3月/4日

## 令和6年度 漫画研究部 部の指導方針等について

### 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
高い目的意識と強い行動力をもって、日々努力を重ねる
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
文化祭出品等を目指して、作品発表の準備を進める
- (3) 地域貢献等の特色ある目標

### 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
活動は原則週3日間（月・水・金）とし、活動時間は2時間集中して行う
- (2) 休養日  
上記活動日を除き原則休養日とする。  
但し、文化祭準備期間については、部員と相談し健康面に配慮し決定する。
- (3) 活動場所  
3階 書道室
- (4) 練習や試合等の計画  
イラストや漫画の技術面だけでなく、一般的教養をも身につけることにより総合的な漫画力の向上を心がける
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉づかい、自ら進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする
- (6) 生徒相互の人間関係  
協調性や責任感を涵養する
- (7) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保する
- (8) 新型コロナウイルス等感染症防止対策  
日常の活動において、状況に応じて必要な対策を行う。

### 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
行き過ぎた指導のない部活動を展開していく
- (2) 生徒間の暴力禁止  
上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する

(3) 外部指導員の活用

部員自らが研究し、自己の内的欲求の正しい表現手段を探求するため現在は必要としていない。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画をたてる

4 大会等の主な記録

特に無い

5 今年度の参加予定大会 特に無い

大会名 日付

①

②

③

6 部員数

	男子	女子	合計
1年	0	8	8
2年	1	4	5
3年	0	1	1
合計	6	6	14

## 7 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	生徒会部活動紹介		0 日
	5	基礎画力の鍛錬	中間考査期間	0 日
	6	基礎画力の鍛錬 読書		0 日
	7	基礎画力の鍛錬 漫画構成の練習 読書	期末考査期間	0 日
	8	文化祭準備 部誌の原稿作成 読書		0 日
2 学期	9	文化祭 部誌の発行	中間考査期間	0 日
	10	画力の向上練習 読書		0 日
	11	画力の向上練習 読書	期末考査期間	0 日
	12	卒業記念画集の作成準備	年末 12/28~12/31	0 日
3 学期	1	卒業記念画集の作成準備	年始 1/1~1/3	0 日
	2	卒業記念画集の作成準備	入選期間	0 日
	3	卒業記念画集の発行 新入生受入準備	入選期間 学年末考査期間	0 日

# 令和6年度 硬式野球部の指導方針等について

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
甲子園出場を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
定期的に地域の清掃活動を行い、地域貢献に努める。

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
練習は、原則週に6日間とし、練習時間は、平日2時間、休日3時間程度を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 休養日  
毎週火曜日を休養日にあてる。試験1週間前から試験終了前日までは、学業に専念させる。7月22日から7月25日、12月26日から1月5日までは完全休養とする。
- (3) 活動場所  
基本的に学校のグラウンドで活動、練習試合は他校に行って実施することもある。
- (4) 練習や試合等の計画  
月に6～8回程度、競技力を高めるため強豪チームと練習試合を行う。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (6) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (7) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

#### 4 大会等の主な記録

平成 29 年度 夏季大会初戦敗退。秋季大会ブロック予選決勝進出。  
平成 30 年度 春季大会都大会進出初戦敗退。夏季大会 3 回戦敗退。  
秋季大会ブロック代表 (9 年ぶり 2 回目)  
秋季都大会進出  
平成 31 年度 春季大会都大会進出初戦敗退。  
夏季大会ベスト 16 進出。  
令和 2 年度 夏季大会ベスト 32 進出。  
令和 3 年度 夏季大会ベスト 32 進出。  
第 15 回東村山カップ優勝  
令和 4 年度 夏季大会 3 回戦進出

#### 5 今年度の参加予定大会

	大会名	日付	
①	夏季大会	7/6～	(6/15 抽選会)
②	秋季大会	9/7 ～	(8/28 抽選会)
③	秋季都大会 (ブロック突破校)	10/5～	(9/30 抽選会)
④	春季大会	3/15～予	(3/2 抽選会予定)

#### 6 部員数

	男子	女子	合計
1 年	8 人	4 人	12 人
2 年	6 人	1 人	7 人
3 年	8 人	2 人	10 人
合計	22 人	7 人	29 人

## 7 主な年間計画

学期	月	内 容	まとまっ た休養日	週休日の 活動日数
1 学 期	4	野球部保護者会（4月28日） ／顧問紹介・指導方針の説明	4日	4日
	5		9日	2日
	6	夏季大会壮行会（6月23日）	8日	8日
	7	全国高校野球選手権大会西東京大会（7月6日～） 3年生引退試合	7日	10日
	8	夏季合宿（8月1日～8月5日）	5日	8日
2 学 期	9	秋季大会 ブロック予選（24ブロック）	4日	8日
	10	秋季大会 都大会（64チーム）	13日	4日
	11	府中西高校野球部定期総会（11月23日）	7日	8日
	12	アウト・オブ・シーズン（3月第1週まで、練習 試合禁止期間） 基礎体力強化練習 野球部父母会納会 年始挨拶の為の年賀状作り 冬季休業中強化練習	10日	4日
3 学 期	1	アウト・オブ・シーズン（3月第1週まで、練習 試合禁止期間） 基礎体力強化練習 冬季休業中強化練習	9日	6日
	2	アウト・オブ・シーズン（3月第1週まで、練習 試合禁止期間） 基礎体力強化練習	8日	6日
	3	アウト・オブ・シーズン（3月第1週まで、練習 試合禁止期間） 三送会（卒業式の日） 春季大会 ブロック予選 吹奏学部定期演奏会 応援	9日	8日

## 令和6年度 軽音楽部の指導方針等について

### 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
集団生活における帰属意識や協働、協調、自立の精神を持つ。
- (2) 競技大会、コンクール、高文連軽音楽コンテスト決勝出場及びバンドフェスティバル地区予選突破。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
高文連大会運営の補助役員として活動する。

### 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日）  
練習は原則平日5日間、練習は2時間。休日は原則として練習しないが、適宜、演奏発表会、大会出場、特別練習等を行う。
- (2) 休養日  
バンド単位の練習であるため同一バンドは週1回の活動である。他は休養日とする。
- (3) 活動場所  
3学年の教室を4教室使用している。
- (4) 練習や試合等の計画  
6月中旬予定の1年生課題曲(MONGOL800の「小さな恋の歌」)発表会に向けて1年生バンドに2年生、3年生の専属バンドが教える等、軽音楽部の特質を活かし部員一人一人の責任感と役割分担を意識させて活動させる。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
活動時の練習時間、後片付け状況の報告等を日常的に確実に行わせる。  
出欠を取る。
- (6) 生徒相互の人間関係  
バンド活動を通して他人との協調する力を養わせる。
- (7) 学習と部活動  
遅刻等により部活動だけのために登校することを禁ずる。成績不良部員への活動制限等を行う。

### 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
体罰関連行為のガイドラインに基づき、体罰、暴言のない指導に当たる。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
特別指導等を受ける生徒の活動を禁止する。
- (3) 外部指導員の活用  
専門的な技術を持つ卒業生の演奏及び技術指導を活用する。また、顧問と外部指導員の共通理解のもと、連携して指導する。

#### 4 大会等の主な記録

- 平成27年度 第8東京都高等学校軽音楽コンテスト 特別賞  
 第3回全国高等学校軽音楽コンテスト 奨励賞
- 平成29年度 第10回東京都高等学校軽音楽コンテスト決勝大会 優秀賞
- 令和元年度  
 令和2年度 第13回東京都高等学校文化祭 軽音楽部門大会東京都高等学校対抗バンドフェスティバル出場  
 全国高等学校軽音楽部対抗バンドバトル2020 冬の陣出場
- 令和3年度 第1回全国高校 軽音楽部大会 関東甲信越地区動画予選会出場  
 高校生ライブ MUSIC DAYS 2021 東京大会出場  
 第14回東京高等学校軽音楽コンテスト出場
- 令和5年度 第2回高校軽音部大会「スニーカーエイジ」オリジナルコンテスト  
 グランプリ受賞

#### 5 今年度の参加予定大会

- 高校生ライブ MUSIC DAYS 2024 東京大会  
 高等学校軽音楽コンテスト関東大会  
 第4回全国高校 軽音楽部大会 関東甲信越地区大会

#### 6 部員数

	男子	女子	合計
1年	15	13	28
2年	13	8	21
3年	3	13	16
合計	31	34	65

#### 7 主な年間計画

学期	月	内 容	まとまった休養日	週休日の活動日数
1学期	4	1年生仮入部、一斉部会 1年生課題曲練習開始 2,3年生による技術指導	中間考査 (5/21~5/24)	
	5	1年生課題曲練習 1年生歓迎演奏会練習		
	6	1年生課題曲発表会 1年生歓迎演奏会同時開催		
	7	軽音楽コンテスト校内オーディション		
	8	文化祭に向けて課題曲の練習	期末考査 (7/1~7/4)	
3学期	1	来年度課題曲セッション大会 三送会	学年末考査 (3/3~3/6)	
	2			

## 令和6年度 写真部の指導方針等について

### 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「心身を鍛え、集団生活における帰属意識や協働・協調の精神を養う部活動」に寄与する活動を行う。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
東京都高等学校文化祭写真部門の地区、中央大会や多摩六都高校生写真展、文化祭展示、年2回を目途に校内展示等に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
近隣地区や地域の風景を写真を通して見直し、その中にある美を追求する。

### 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
毎週金曜日 午後3時40分から1時間30分程度  
月1回土曜または日曜 3時間程度
- (2) 休養日  
金曜日以外(ただし土曜日または日曜日に撮影会を実施する可能性あり)
- (3) 活動場所  
多目的②教室
- (4) 練習や試合等の計画  
東京都高等学校文化連盟主催の行事への参加、多摩六都高校生写真展、文化祭展示、校内展示等に取り組んでいく。
- (5) 本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶、言葉遣い、自ら考え・判断・行動する力を育成する。
- (6) 生徒相互の人間関係  
お互いを思い遣り、写真を通してお互いの理解を高めていく。
- (7) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を目指して、家庭での学習時間を確保するよう指導する
- (8) 新型コロナウイルス感染症防止対策  
部活動中にソーシャルディスタンスに留意し、換気の徹底をする。

### 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用 現段階では計画していない。
- (4) 事故防止・安全配慮  
活動時には周囲に注意し、事故を起こさない・事故にあわないよう注意する。
- (5) 新型コロナウイルス感染症防止対策  
部活動中にソーシャルディスタンスに留意し、換気の徹底と共用の機材は使用に際し消毒する。

### 4 大会等の主な記録

令和3年度 東京都高等学校文化祭地区大会 出品23点出品、入賞1点  
中央大会 2点入選、

令和4年度 東京都高等学校文化祭地区大会 出品38点、  
中央大会 3点入選、  
多摩六都高校生写真展 22点出品

令和5年度 東京都高等学校写真連盟地区大会 出品21点  
中央大会 1点入選、  
多摩六都高校生写真展 20点出品

## 5 今年度の参加予定大会

- ① 東京都高等学校文化祭写真部門地区大会
- ③ 同 中央大会
- ④ 多摩六都高校生写真展

## 6 部員数

	男子	女子	合計
1年	3	8	11
2年	0	6	6
3年	3	0	3
合計	6	14	20

## 7 主な年間計画

学期	月	内 容	まとまった休養日	週休日活動日数
1学期	4	一斉部会 部活動の話し合い		0日
	5		中間考査	1日
	6	文化祭展示テーマの検討 東京都高等学校文化祭写真 部門地区大会応募		1日
	7	文化祭展示作品の撮影	期末考査	1日
	8	文化祭準備 東京都高等学校文化祭写真 部門地区大会		1日
2学期	9	文化祭での展示		
	10	文化祭の反省 東京都高等学校文化祭写真	中間考査	1日
	11	部門中央大会応募 校内展示会の実施	期末考査	1日
	12	東京都高等学校文化祭写真 部門中央大会	年末	1日
3学期	1	次年度の準備活動	年始	0日
	2	多摩六都高校生写真展準備		0日
	3	多摩六都高校生写真展 年間活動の振り返りと反省	学年末考査	1日

# 令和4年度 女子バレーボール部の指導方針等について

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
部活動を通して充実した高校生活を送る。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
予選リーグ上位通過、一部大会2回戦以上進出。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地域の中学生の練習受け入れ

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
月・水・木・金・土・（日） 3～4時間。
- (2) 休養日  
週2日 火曜日と週末1日  
定期考査1週間前や定期考査期間中は、公式戦日程との重なりがある場合を除き活動を停止する。  
長期休業中は、週当たり2日以上以上の休養日を設ける。又、合宿後や公式大会後等にも休養日を設ける。
- (3) 活動場所  
体育館、校外、トレーニングルーム
- (4) 練習や試合等の計画  
月に1回程度練習試合を行う。またローカル大会にも積極的に参加し、実戦を通して技術の向上を図る。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行。練習計画の自立的作成。
- (6) 生徒相互の人間関係  
学年間の秩序と親睦に気を配る。
- (7) 学習と部活動  
切り替えのきちんとできる部活動を目指す。定期的に生徒の学習状況を確認する

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
体罰を指導上必要と考えないので、体罰をおこなうことはない。  
指導において、感情的になることのないように、論理的・理論的な言葉おがけを行う。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
内面的、精神的健康をはかる。生徒の表情に注意し、生徒の安全を守ることを優先する。
- (3) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。  
熱中症の予防に努め、こまめな水分補給をおこなう。

#### 4 大会等の主な記録

令和3年度 新人選手権大会ブロック予選2位  
 令和4年度 春季大会2部大会出場  
 令和5年度 春季大会本大会出場

#### 5 今年度の参加予定大会

大会名	日付
① 春季大会兼関東大会予選	4月21日
② 全日本高校選手権東京都予選	5月26日
③ 夏季大会	8月17日
④ 新人リーグ戦兼新人選手権予選	11月 3日

#### 6 部員数

	男子	女子	合計
1年		14人	14人
2年		8人	8人
3年		5人	5人
合計		27人	27人

#### 7 主な年間計画

学期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数
1学期	4	基礎練習 新入生受け入れ 大会前チーム練習		4日
	5	基礎練習 大会前チーム練習	考查期間 8日	4日
	6	3年生引退 新チーム発足、基礎固め		4日
	7	チーム作り、基礎練習 合同合宿実施（山梨県山中湖村）	考查期間 12日	4日
	8	ローカル大会・公式戦参加 チーム作り	夏季休業中 10日	4日

2 学期	9	練習試合 チーム練習	考查期間 10日 考 査 期 間 10日 年末 3日	
	10	練習試合 チーム練習		
	11	公式戦参加 チーム練習		
	12	ローカル大会参加 練習試合		
3 学期	1	練習試合 チーム練習	年始 4日 考 査 期 間 10日	4日
	2	公立校大会参加 チーム練習		4日
	3	練習試合 チーム練習		4日

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

## 令和6年度 女子硬式テニス部の指導方針等について

### 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
心身を鍛え、集団生活における帰属意識や協働・協調の精神を養う。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
高体連の大会をはじめ各種大会での予選突破を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地域交流を積極的に図るため、地域への施設開放を行う。

### 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
生徒の自主的・自発的な参加を基本とする。活動日は平日3日、必要に応じて休日1日とし、練習時間は平日2時間程度、休日及び長期休業中は3時間程度を基本とし、合理的かつ効率的・効果的な活動を短時間で集中して行う。
- (2) 休養日  
平日2日、休日1日の週当たり3日を休養日とする。また定期考査1週間前及び定期考査期間中は、公式戦日程等との重なりがある場合を除き休養期間とする。大会が日曜にあることが多いため、長期休業日や祝日等で振替とすることもある。
- (3) 活動場所  
テニスコート
- (4) 練習や試合等の計画  
競技力を高めるために、学期に1～2回他校と練習試合を行う。また、部内戦を定期的に行う。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、本校の生徒として当たり前な行動をとらせる。
- (6) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (7) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

### 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
体罰・暴言等のない適切な指導を行うことについて、顧問・外部指導員・生徒及び保護者の間で共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
すべての生徒間で暴力による問題解決を図ることがないよう、日頃から指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割分担について基本的な考えを示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達段階及び体力・健康・技能等の状況を把握した上で、段階的に適切な活動計画を立てる。

(5) 体調管理・感染症拡大防止対策

手洗い・うがいを徹底させ、日頃より体調管理をするよう指導する。

4 大会等の主な記録

令和4年度 インターハイ予選シングルス4回戦進出

ダブルス5回戦進出

新人戦シングルス4回戦進出

新人戦ダブルス5回戦進出

都立高テニス選手権大会 シングルス ベスト16

第43回フジカップ シングルス 優勝

令和5年度 新人戦シングルス3回戦進出

ダブルス2回戦進出

団体1回戦進出

都立高テニス選手権大会シングルス2回戦進出

5 今年度の主な参加予定大会

大会名	日程
① 東京都高等学校テニス選手権大会（個人戦）	4月
② 東京都高等学校テニス選手権大会（団体戦）	5月
③ 都立対抗テニス大会（団体戦）	6月
④ 東京都高等学校新人テニス選手権大会（個人戦）	9月
⑤ 東京都高等学校新人テニス大会（団体戦）	11月
⑥ 東京都立高等学校テニス選手権大会（個人戦）	1月

6 部員数

	男子	女子	合計
1年	0	3	3
2年	0	0	0
3年	0	4	4
合計	0	7	7

## 7 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	生徒会部活動紹介 テニス専門部総会および指導者講習会 (オンライン) 東京都高等学校テニス選手権大会 (個人戦)	中間考査期間 5/13~5/23 期末考査期間 6/24~7/3  夏季休業 8/10~8/18	7 日程度
	5	東京都高等学校テニス選手権大会 (団体戦)		
	6	都立対抗テニス選手権大会 (団体戦)		
	8	夏季休業中 練習及び練習試合		
2 学期	9	東京都高等学校新人テニス選手権大会 (個人戦)	中間考査期間 10/10~10/21 期末考査期間 11/26~12/5  年末年始 12/28~1/4	8 日程度
	11	東京都高等学校新人テニス大会 (団体戦) 東京秋季庭球選手権大会 (団体戦)		
	12	冬季休業中 練習及び練習試合		
3 学期	1	東京都立高等学校テニス選手権大会 (個人戦)	学年末考査期間 2/25~3/5	3 日程度
	3	春季休業中 西東京庭球大会 (団体戦) 練習及び練習試合		

※ (備忘録) 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

# 令和6年度吹奏楽部の指導方針等について

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
日々の練習において、芸術性と演奏能力の向上をはかり、本校の芸術文化に貢献すべく日々努力を重ねる。
- (2) 具体的到達目標  
年間を通して、さまざまな発表の場を設け、これを目標として演奏活動を行うことのできるレベルまで個人・パート・バンド全体のスキルアップをはかる。
- (3) 特色ある目標  
3学年が協力して活動する本校の特色を生かし、日々の練習において部員同士の信頼関係を構築するとともに、地域の音楽文化向上に貢献できる部活動をめざす。

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、平日2時間を基本とする。モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 発表会等の計画  
3月の定期演奏会をメインとして、7月の野球部応援、8月のコンクール、9月の文化祭演奏に加え地域の施設からの依頼演奏等に参加し発表の場を多数設ける。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係  
バンドとして日々練習していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう指導するとともに、練習日の設定を工夫し、部活動のない日を設けるなど学習に集中できる体制を整える。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
日々の合奏練習・セクション練習等の指導では、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。
- (4) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

#### 4 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	入学式演奏  生徒会部活動紹介 新入生仮入部
	5	初心者講習会参加 校内で基礎練習（指導員による指導を予定）
	6	野球応援準備 コンクール曲練習（指導員）
	7	野球応援 夏季合宿
	8	コンクール曲練習（指導員） コンクール 文化祭準備
2 学期	9	文化祭における演奏会
	10	高等学校文化連盟音楽部門 地区大会参加
	11	50周年行事アトラクション演奏 その他 依頼演奏等
	12	クリスマスコンサート
3 学期	1	東京都高等学校アンサンブルコンテスト  定期演奏会に向け練習開始 （継続的な指導員による練習を含む）
	2	合唱コンクールアトラクション演奏
	3	卒業式演奏 定期演奏会

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

# 令和6年度 卓球部の指導方針等について

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
自ら実践する強い行動力と課題を見つけ克服するよう努力する
- (2) 競技大会等の目標  
国公立大会で優勝を目指す
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地元中学校への強化練習参加などを通し、相互に技術力を高める

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
月（2時間）・木（2時間）・土（3時間）を全体練習日とし、火・水は、場所が確保できないため自主練習日とする。
- (2) 練習や試合等の計画  
練習日：月・火・水・木・土  
高体連主催大会に参加。それ以外にも市民大会等オープン戦に参加
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識育成  
挨拶をする。時間を守る。片付けの徹底。
- (4) 生徒相互の人間関係  
先輩・後輩の枠を超え、交流・技術指導を生徒相互で行い、切磋琢磨する。
- (5) 学習と部活動  
考査一週間前には部活動を休止して、勉強に専念させる。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
体罰・暴言等のない指導を徹底することについて、顧問・生徒・保護者間で共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
上級生から下級生へ、また同学年同士での暴力が起こらないよう指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
指導員の確保が難しく、実現できていない。

## 4 新型コロナウイルス感染症防止対策

毎朝の検温等、自己の健康管理を徹底させる。移動の時はマスクを着用するよう指導し、対外練習試合や公式戦時は、健康観察表及び保護者の同意書の提出を徹底する。また、こまめな手洗いをを行い、共用物は消毒を徹底して行う。

5 主な年間計画（参加予定だった行事を含む）

学 期	月	内 容	
1 学期	4	部活紹介・体験入部 春季大会兼関東予選【男】 春季大会兼関東予選【女】	考查期間 (休み)  考查期間 (休み)
	5	インターハイ予選【男】 インターハイ予選【女】	
	6	インターハイ予選【男】 団体 夏季大会【女】	
	7	合宿（7/21～24） 多摩地区大会【男】	
	8	国公立大会【男女】	
2 学期	9	市町村大会【男女】 全日本ジュニア予選【男】	考查期間 (休み)  考查期間 (休み)
	10	新人戦【男】 秋季大会【女】	
	11	新人戦【女】	
	12		
3 学期	1	市町村大会	考查期間 (休み)
	2	冬季大会【女】	
	3	市町村大会【男女】 多摩ジュニア大会【男女】	

## 2024年度男子バレーボール部の指導方針等について

### 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
バレーボールの技術の向上はばかりでなく、社会貢献の精神や思いやりの心を育て、豊かな創造性と人間性を培う。
- (2) 競技大会等の目標  
関東大会出場を最大の目標として努力する。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
周辺の中学校バレー部との交流。

### 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
火・金 2時間程度 土・日 3時間程度 水・木トレーニング 1～2時間
- (2) 休養日  
月・土（または日）、定期考査1週間前～考査期間中  
長期休業中 週当たり2日
- (3) 活動場所  
体育館、校外、トレーニングルーム
- (4) 練習や試合等の計画  
週休日を中心に計画
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶を励行し、人の話をきちんと聞ける態度を養う。
- (6) 生徒相互の人間関係  
チームとして競技を行うため、普段の生活でも協調性や責任感を育成する。
- (7) 学習と部活動  
考査前に活動は休止し、テスト勉強に集中させる。

### 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
体罰・暴言を指導上必要と考えないので、体罰・暴言をおこなうことはない。  
生徒、保護者、外部指導員、顧問の間で共通理解を図り適切な指導をおこなう。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
命令口調での仕事分担とならないように注意する。仕事の分担を平均化し、特定の者が、過負担とならないように注意する。
- (3) 外部指導員の活用  
仕事を持っている方なので、不定期に指導にあたって下さっているが、こちらの方針を汲んで下さり、協力体制が取れている。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。
- (5) 新型コロナウイルス感染防止対策  
練習時および更衣時には3密を回避するように配慮し、生徒にもその重要性を指導する。練習隊形では2mの間隔を取ることを最優先して取り組む。ボールを共有することからこまめに手洗いを実践する。また、熱中症にも十分気をつけ、水分補給・休憩をこまめに実践する。

#### 4 大会等の主な記録

平成28年度 都立高校大会ベスト16  
 平成29年度 都立高校大会ベスト16、高体連新人大会ベスト32  
 平成30年度 府中市民大会優勝（3連覇）  
 令和元年度 都立高校大会 全都本大会2部準優勝

#### 5 今年度の参加予定大会

大会名	日付
① 関東大会予選	4月14日
② インターハイ予選	6月9日、16日
③ 夏季都立校大会	8月
④ 全日本1次予選	8月20日、22日
⑤ 新人大会	11月10日、17日

#### 6 部員数

	男子	女子	合計
1年	12	0	12
2年	7	2	9
3年	4	2	6
合計	23	4	27

#### 7 主な年間計画

学期	月	内 容	まとまった休養日	週休日の活動日数
1学期	4	生徒会主催 部活動紹介参加 関東大会東京都予選出場	中間考査時 11日 期末考査時 13日  大会終了後 4日	8日
	5	インターハイ東京都予選出場		8日
	6			6日
	7	サマーカップ出場 都立高校夏季大会出場		6日
	8			9日
2学期	9	全日本選抜大会東京都予選出場	中間考査時 11日  期末考査時 11日	6日
	10	府中市民大会出場		7日
	11	新人大会出場		8日
	12	ウインターカップ出場		6日
3学期	1	新人決勝大会出場	学年末考査時 11日	8日
	2	都立高校冬季大会出場		8日
	3	スプリングカップ出場		6日

# 令和6年度 男子硬式テニス部の指導方針等について

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
心身を鍛え、集団生活における帰属意識や協働・協調の精神を養う。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
高体連の大会をはじめ各種大会での予選突破を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地域交流を積極的に図るため、地域への施設開放を行う。

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
生徒の自主的・自発的な参加を基本とする。活動日は平日4日、休日1日とし、練習時間は平日2時間程度、休日及び長期休業中は3時間程度を基本とし、合理的でかつ効率的・効果的な活動を短時間で集中して行う。
- (2) 休養日  
平日1日、休日1日の週当たり2日を休養日とする。また定期考査1週間前及び定期考査期間中は、公式戦日程等との重なりがある場合を除き休養期間とする。なお、日曜日に大会参加等で活動した場合は、基本的に月曜日を休養日に振り替える。
- (3) 活動場所  
テニスコート
- (4) 練習や試合等の計画  
競技力を高めるために、三か月に1～2回他校と練習試合を行う。また、部内戦を定期的に行う。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、本校の生徒として当たり前の行動をとらせる。
- (6) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (7) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。
- (8) 熱中症防止対策  
適切に休憩をとらせ、こまめに水分・塩分補給させるとともに、体調の悪い時、湿度の高い時、急に暑くなった時などは無理をさせないように指導する。
- (9) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策  
日常の活動内での健康管理を継続的に行うとともに、体調不良の際は活動を見合わせるように指導する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
体罰・暴言等のない適切な指導を行うことについて、顧問・外部指導員・生徒及び保護者の間で共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
すべての生徒間で暴力による問題解決を図ることがないように、日頃から指導を徹底する。

- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割分担について基本的な考えを示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達段階及び体力・健康・技能等の状況を把握した上で、段階的に適切な活動計画を立てる。
- (5) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策  
活動後の手指消毒を実施し、咳エチケットを継続する。部室を使用する場合は、十分換気を行い、滞在時間を短時間にとどめさせる。

#### 4 大会等の主な記録 (令和5年度)

東京都高等学校新人テニス選手権大会 (個人戦) シングル4回戦進出 2名  
 東京都高等学校新人テニス選手権大会 (個人戦) ダブルス3回戦進出 1組  
 東京都高等学校新人テニス選手権大会 (団体戦) 3回戦進出

#### 5 今年度の主な参加予定大会

大会名	日程
⑦ 東京都高等学校テニス選手権大会 (個人戦)	4 月
⑧ 東京都高等学校テニス選手権大会 (団体戦)	5 月
⑨ 都立対抗テニス大会 (団体戦)	7 月
⑩ 東京都高等学校新人テニス選手権大会 (個人戦)	9 月
⑪ 東京都高等学校新人テニス大会 (団体戦)	11 月
⑫ 東京都立高等学校テニス選手権大会 (個人戦)	12 月

#### 6 部員数

	男子	女子	合計
1年	1	0	1
2年	3	0	3
3年	8	0	8
合計	12	0	12

## 7 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	生徒会部活動紹介 テニス専門部総会（顧問:オンライン参加）  東京都高等学校テニス選手権大会（個人戦）	中間考査期間 5/13~5/23	1 2 日程度
	5	東京都高等学校テニス選手権大会（団体戦）	期末考査期間 6/24~7/3	
	7	都立対抗テニス大会（団体戦）	夏季休業	
	8	夏季休業中 練習及び練習試合	8/10~8/18	
2 学期	9	東京都高等学校新人テニス選手権大会（個人戦）	中間考査期間 10/10~10/21	1 4 日程度
	11	東京都高等学校新人テニス大会（団体戦）	期末考査期間 11/26~12/5	
	12	冬季休業中 練習及び練習試合  東京都立高等学校テニス選手権大会（個人戦）	年末年始 12/28~1/4	
3 学期	3	春季休業中 練習及び練習試合	学年末考査期間 2/25~3/5	9 日程度

※（備忘録）合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載すること。

# 令和6年度 日本語クラブの指導方針等について

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
日本語の習熟に対して高い目的意識と強い行動力をもって努力を重ねる
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
各々の習熟度合に応じたレベルの日本語能力検査を受験し合格を目指す。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
特に無し

## 2 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）  
活動は土曜日とし、活動時間は2時間集中して行う
- (2) 休養日  
上記活動日を除き原則休養日とする。
- (3) 活動場所  
3階1年教室
- (4) 練習や試合等の計画  
府中国際交流サロンのボランティアスタッフの計画にそって学習する。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、場面や状況に応じた所作がとれるようにする
- (6) 生徒相互の人間関係  
協調性を養い自己肯定感を高める。
- (7) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保する

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
顧問、ボランティアスタッフ、生徒、保護者の間で、体罰・暴言等のない適切な指導について共通理解を持つ。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する
- (3) 外部指導員の活用  
日本語教育の有資格者（日本語教育能力検定合格者、講座修了者等）に要請し、日本語指を受けている。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画をたてる。

## 4 大会等の主な記録

特に無い

## 5 今年度の参加予定大会 特に無い

## 6 部員数

1年	20
2年	19
3年	19
合計	58

## 7 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	日本語の習熟に向けた学習会		3 日
	5	日本語の習熟に向けた学習会	中間考査期間 5/23~28	2 日
	6	日本語の習熟に向けた学習会		2 日
	7	日本語の習熟に向けた学習会	期末考査期間 7/3~7/6	0 日
	8			0 日
2 学期	9	日本語の習熟に向けた学習会	中間考査期間 10/18~23	0 日
	10	日本語の習熟に向けた学習会		2 日
	11	日本語の習熟に向けた学習会	期末考査期間 12/5~12/10	2 日
	12	日本語の習熟に向けた学習会 平成 30 年度第 2 回日本語能力検査	年末 12/29~31	0 日

3 学期	1	日本語の習熟に向けた学習会	年始 1/1~3	1 日
	2	日本語の習熟に向けた学習会	入選期間 1/26~27	1 日
	3	日本語の習熟に向けた学習会	入選期間 2/20~26 学年末考査期間 3/4~3/7	1 日